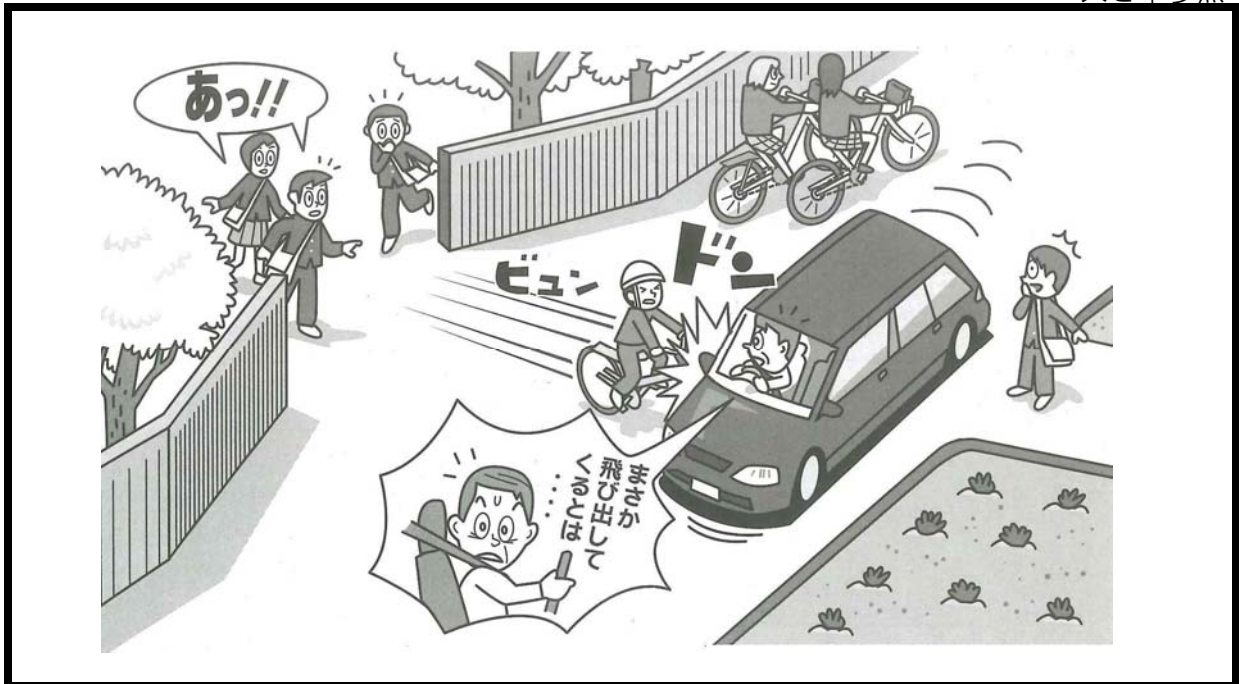


■事故の概況

人と車参照



事故類型：出会い頭

発生日時：午後

当事者A：普通乗用車 60歳代 男性

当事者B：自転車 10歳代 男性

■ 事故の概要

Aは中学校と高校の前を通る中央線のない道路を時速約30kmで走行していました。右側前方から高校生の乗った二台の自転車が並列で進行してきたので、Aは減速して自転車とすれ違いそのまま進行しました。中学校の入り口付近まで来たとき、突然Bが道路に飛び出してきたので、とっさに急制動しましたが間に合わず衝突しました。

一方Bは自宅に帰ろうと自転車に乗って学校の入り口まで来たとき、道路の反対に友人がいるのを見つけ、友人に追いつこうと急に道路に飛び出しました。この時BはA車が接近してくるのを確認しましたが、直前の回避行動をとることができずに衝突しました。

■ 事故から学ぶ

Aは走行している道路の先に学校があることを分かっていたのですから減速するだけでなく、徐行をするべきでした。徐行とは「車両等が直ちに停止することができるような速度で進行すること」を指します。通学路だとわかっていたのですから、飛び出してくる自転車や歩行者がいるかもしれないという意識を持って運転しましょう。

Bも左右の安全確認をせずに道路に飛び出しています。自転車は自動車や二輪車と同じ「車両」であるという自覚をもち、道路を横断する際には一時停止をして左右の安全確認をすることが必要です。